

組合員 訪問活動



「JAあいち尾東は組合員の皆様に「JAはよくやっている」「JAは変わった」と思っていただけのように自己改革に取り組んでおります。その取り組みを広く知っていただくために担い手農家をはじめとした組合員の皆様へ訪問活動を行っています。今回は訪問活動でいただいた質問や意見、要望の一部をご紹介します。

Q 合併後、職員との接点が少なくなっているのでも訪問活動を継続してほしい。

A 組合員、地域の皆様の意見要望を聞き取り事業に反映していくため、今後も組合員訪問活動を継続してまいります。

Q グリーンセンター等の購買事業について、一括仕入れにより販売価格を抑え、農家の生産コスト低減に結びつけてほしい。

A 仕入れ先を統一し、全店統一商品とすることで4.4%〜10%の価格低減を行いました。今後も仕入れの統一品目

を拡大し、価格低減に努めてまいります。

Q 核家族が増えているので米の小袋販売を検討してほしい。

A 現在米の小袋販売について検討を進めております。また、産直施設では1kgからお問い合わせいただける「コメ米コーナー」を設置していますのでぜひご利用下さい。

Q 農産物の調理方法などを聞くことができる対面販売など、生産者と消費者の間を取り持つ工夫は何を行っているのか。

A 各店舗には「食育ソムリエ」の資格を持った職員がおり、毎月試食による食の提案を行っています。新野菜など食べ方が分からない農産物でも手に取っていただきやすくなるよう試食イベント等を行っています。

Q 出向く営農で、産直に出荷する新しい野菜の品種を紹介してくれてありがたい。これからも紹介してほしい。

A 産直施設をより魅力ある施設にいくため、新野菜（カリフラワー、アレッタ、カーボロネロなど）を推奨し出荷いただいております。今後も栽培指導含め、情報提供を継続してまいります。

Q 中部ライスセンターに色彩選別機を導入することにより、米の品質向上が図られていくと思うが、管内にある他のライスセンターにも色彩選別機を導入し、あいち尾東全体で米の品質向上をするべきである。

A 平成30年度に豊明・東郷・長久手の3地域のライスセンターにも色彩選別機を導入

入し、あいち尾東全体の米の品質向上に努めて参ります。

Q 自己改革の取り組みについて、多くの方に知ってもらえるよう金融店舗などに資料を置いてはどうか。

A 総代会において資料を配付させていただきました。また、自己改革のレポートを各店舗にも設置しました。

Q 規格外品などのロスをなくすため、販路拡大及び6次産業化に取り組んでほしい。

A 6次産業化として、ジャムやアイスクリームなどの加工を行っています。また、平成29年度には農産物4126kgを買い取り加工し、農産物のロスを削減することで農業者の所得向上に努めております。

Q 営農指導員がわかりにくいため制服を変えるなど対策をしてほしい。

A 営農指導員が一目でわかるように腕章を作製し、着用しております。お気軽にお声かけください。